

政策シート 政策名 09 地元水産物の消費の活性化

予算費目名 01 水産業振興推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後) ◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱 (10年後) ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

各協会等に対する支援を通じて、関係団体と連携した地元水産物の消費の活性化を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑫生産・消費	⑭海洋資源							
-----	--------	-------	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,907	1,301	1,178	2,161	2,161	
決算	1,892	1,215	1,008	1,798		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	6,390	6,390	7,440	7,440	6,380	
年間経費(予算又は決算+A+B)	8,282	7,605	8,448	9,601	8,541	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
水産業協同組合の年間取扱高(百万円)	百万円	目標	8,704	8,780	8,856	8,932	9,008	9,084
		実績	8,595	7,945	7,169	8,785		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

各協会等に対する支援を通じて、関係団体と連携した地元水産物の消費の活性化を図る。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

親うなぎ放流事業等を実施し、水産業の安定的発展を推進することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	水産業振興事業	-	○		8,541	2,161	0.5	0.8		
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					8,541	2,161	0.5	0.8		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 水産業振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

各水産関係団体及び各種研修会等へ参加することで、水産に関する最新の情報と資料の収集を図り、本市水産振興施策の推進を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	② 飢餓							
	⑩ 生産・消費							
事業とゴールの 関連性	水産資源の管理と保護に努め、水産業の振興を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,907	1,301	1,178	2,161	2,161	
	決算	1,892	1,215	1,008	2,161		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,892	1,215	1,008	2,161	2,161	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,390	6,390	7,440	7,440	6,380	
人工	正規	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	
	再任用(31h)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		8,282	7,605	8,448	9,601	8,541	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
水産業協同組合の年間取扱高(百万円)		目標	8,704	8,780	8,856	8,932	9,008	9,084
		実績	8,595	7,945	7,169	8,785		
浜松パワーフード宣言・応援宣言認定事業者(事業者)		目標	100	200	300	400	500	600
		実績	113	192	240	265		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- 1 水産振興協議会等支援事業
各協会等に対する支援(負担金)
- (1) 静岡県遊漁船業協会
 - (2) 海上保安協会御前崎支部
 - (3) 浜名湖地区水産振興協議会
 - (4) 静岡県漁港漁場協会



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

親うなぎ放流事業等を実施し、水産業の安定的発展を推進することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

「浜名湖発親うなぎ放流事業」では、銀化した親うなぎの放流を3回実施することが出来た。また、各団体の研修会等へ参加して、知識を高め、他市町村職員や団体職員と交流し、情報の収集ができた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も親うなぎ放流事業を継続実施していく。また、県と協力してクルマエビの生育調査を実施して、漁獲の向上に努める。

各団体の研修会等へ参加して、他市町村職員や団体職員と交流し、情報の収集を進めていく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- 1 水産振興協議会等支援事業
各協会等に対する支援(負担金)
- (1) 静岡県遊漁船業協会
 - (2) 海上保安協会御前崎支部
 - (3) 浜名湖地区水産振興協議会
 - (4) 静岡県漁港漁場協会